



報道関係各位

株式会社ファミリーマート

地域を支える、あなたを応援したいから。
「こども食堂スタート応援助成プログラム」2025 年度募集開始
むすびえ & ファミリーマートがこども食堂の立ち上げをサポート

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、ファミリーマートの店頭募金「ファミリーマート 夢の掛け橋募金」にお寄せいただいた募金を活用し、こども食堂を初めて開始する団体などを応援するための助成企画「2025 年度こども食堂スタート応援助成プログラム」を、全国のこども食堂の支援を行う「認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ（以下、むすびえ）」（事業所：東京都渋谷区、理事長：三島理恵）と連携して、2025 年 7 月から応募受付を開始することになりましたので、お知らせいたします。

2025年度
ファミリーマート
夢の掛け橋募金

こども食堂スタート応援
助成プログラム

公募期間

前期	夏期スタートプラン	後期	冬期スタートプラン
2025年	7月1日(火)11:00	2025年	11月4日(火)11:00
	8月29日(金)15:00 ※必着		12月22日(月)15:00 ※必着

■こども食堂スタート応援助成プログラムとは

「ファミリーマートの夢の掛け橋募金」をもとに、こども食堂を新たに立ち上げる際に必要な費用を助成するプログラムです。ファミリーマートは 2021 年 9 月から、むすびえとともに既存のこども食堂への助成を行う「ファミリーマート むすぶ、つながる、こども食堂応援プロジェクト」を立ち上げ、助成プログラムを継続実施し、これまで延べ 4,762 団体（2025 年 5 月現在）への助成を実施してまいりました。

このたび、2024 年度に続き、こども食堂を新たに立ち上げる団体を応援する企画を実施いたします。同助成金では、新規にこども食堂を開始する際に必要となる費用の助成を行うほか、こども食堂を新たに立ち上げる方

に向けたオンライン勉強会なども実施いたします。

2025 年度は、申請受付期間を夏期と冬期に分けて受付を実施します。夏期と冬期合わせて 250 団体（上限）への助成を予定しており、一団体当たり 5 万円の助成金を支給いたします。

<公募期間（夏期）>

2025 年 7 月 1 日（火） 11:00 ～ 2025 年 8 月 29 日（金） 15:00※必着

<助成金額・採択団体数>

助成金額：50,000 円/1 団体

採択団体数：250 団体（予定）※採択団体数は、変動する場合がございます。

※夏期、冬期募集合わせて

<助成対象期間>

2025 年 7 月 1 日（火）～ 2025 年 11 月 30 日（日）

※上記の対象期間中において「1 回目のこども食堂」を開催する場合に限りです。

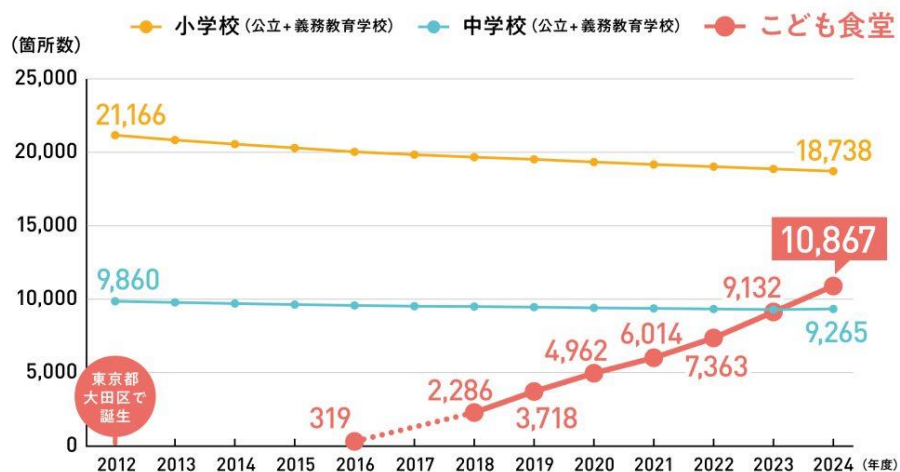
詳細はこちらからご確認ください。

むすびえ HP <https://musubie.org/news/12095/>

■こども食堂拡大の背景

むすびえ、および地域ネットワーク団体を実施する「こども食堂全国箇所数調査」では、2024 年度、全国のこども食堂が前年度（2023 年度）と比較して、1,735 箇所増え、10,867 箇所となり、全国の公立中学校と義務教育学校の数を含めた 9,265 箇所を超える結果となっております。

今後もこどもたちの居場所づくりとなるようなこども食堂の継続を助成し、拡大を支援するプログラムを継続してまいります。



2018年度以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ、2016年は朝日新聞調べ

むすびえ 2024 年度こども食堂全国箇所数調査

■ 2024 年度に助成プログラムで、新たに誕生したこども食堂

<助成プログラムを活用し、初めて開催されたこども食堂のご感想>

(千葉県・みんな食堂 かけわたしの声)

「みんな食堂」では、初めは、お互いに名前も知らない多世代のボランティアスタッフの方や利用者として来てくださった方が、調理をする、参加したこどもと一緒にご飯を食べる、そして一緒に遊ぶことを通じて、お互いに交流する姿を目にすることが出来ました。この関係性は、今後「みんな食堂」を継続していくことで、一過性の関わりではなく、日々の生活の中で、少し困ったことがあった時にお互いに助け合えるような、誰しもをとりこぼさない地域や社会を創ることに繋がると感じています。

(京都府・ごはんベース MOGUMOGUの声)

ボランティアスタッフとして参加して下さった地域の方が通学路での見守りをされている方で、いつもは挨拶をしても下を向いて歩いている子が「MOGUMOGU におったおばちゃんや」と声をかけてくれたそうです。またこども食堂では普段通学路や学校では見られないこどもたちの姿があったと言われていました。こども食堂で出会った子がスタッフを見かけた際に「次の MOGUMOGU いく！」と声をかけてくれたりと、少しずつつながりが出来たように感じます。口コミで知って参加して下さる方がいたり、「今度はいつしますか?」「次はあの人に声をかけてみようと思う」と行政や社協から声をかけてもらえたりと認知が広がってきているように感じています。

(福岡県・こども食堂 かあさん家の声)

私たちの活動の場所は、商店街の一角にある食堂です。そのため、普段から利用する地域の人や、お店を営む人も多く、こども食堂の時間になるとやってくるこどもたちに「お帰り～」とか「今日はどうだった?」など、声をかけていただいています。商店街にこどもたちの元気な声が響くのは、地域の人にとって嬉しいことで、笑顔が連鎖していると感じます。また、親子で利用する人も多く、お母さんが食事を作らなくてもいいので、「ゆっくり夕食を一緒に食べられる」と喜んでもらっています。普段は一緒に食卓を囲むことがない家庭もありますが、ここで大家族のようにみんなで食事してもらえることが私たちにとっても喜びになっています。

<実際にこども食堂スタート応援助成プログラムをご活用いただいたこども食堂さまの開催風景>



(北海道・ハホニコキッチン)



(熊本県・維和地区社協こども食堂)

◆お問い合わせ先

認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

「ファミリーマート&むすびえこども食堂助成」担当：渋谷・石山・小松・古賀

＜申請前の事前のお問い合わせ、ご質問もこちらのメールにて受け付けております＞

Email : kaisetsu_ouen@musubie.org

件名に「2025 年度こども食堂スタート応援助成プログラムについて」と記載ください。

◆ご参考

＜店頭募金ファミリーマート 夢の掛け橋募金＞

ファミリーマートでは 1993 年から店頭募金を実施しており、2006 年からは「ファミリーマート 夢の掛け橋募金」として展開しております。「ファミリーマート 夢の掛け橋募金」の名称は、「お客様と社会的な活動を行う NGO/NPO との“掛け橋”としての役割を担う」ことから名付けられました。お預かりした募金額に加えて、ファミリーマートからの企業寄付（マッチングギフト※）とあわせて、現在、「認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」の他、3 つの団体（「公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」、「特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画 WFP 協会」、「公益社団法人国土緑化推進機構」）の計 4 団体に寄託しています。また、大規模災害発生時には、これらの募金は「災害支援金募金」に切り替え、被災地の支援に充てられます。

※マッチングギフト...募金総額に対して、企業などが一定率を掛けた金額を上乗せして寄託する取り組み。

詳しい概要はこちらの URL をご参照ください。

https://www.family.co.jp/sustainability/material_issues/society/ngo_npo.html

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上